

小室みえこの一般質問

「公約にあった甲状腺エコー検査」

その内容は？財源についても提案！

小 室) 選挙公約にあった甲状腺エコー検査の実施内容について伺います。

担当課) 助成額は柏、松戸に並ぶ金額 3,000 円を想定しています。また、検査を受けることができる病院は市が指定した病院（一ヶ所の病院）を考えており、助成の対象は、事故当時胎児～18歳までのお子さんを対象とします。

小 室) 助成金はどのような財源を考えていますか？

担当課) 単費（市の独自予算）と考えています。

小 室) 国の震災復興特別交付税も利用できないでしょうか？国でも昨年 6/24 の復興審議会議でこの交付税を 5 年間延長することが決定されました。市独自の予算と交付税と併せれば助成が増額できる可能性があります。保護者の負担を減らすべきだと考えます。

担当課) 交付金の件は検討していきます。

小 室) これまで自費で検査を受けてきた方々はその医師との信頼関係があります。継続して検査を受けることができるように助成対象の病院を拡大すべきではないでしょうか？

担当課) 市の指定した病院と考えています。

小 室) これまで、医師会は「野田市の放射能の空間線量から考えて、検査は必要ない。」との見解でした。それを理由に、前市長は健康調査の助成を行って来なかったわけです。気になるのは、見解は変わっていないのですから助成対象となる病院で「心配し過ぎだ」等の発言で嫌な思いをすることが無いよう配慮していただきたいと思います。

小室みえこのひとこと

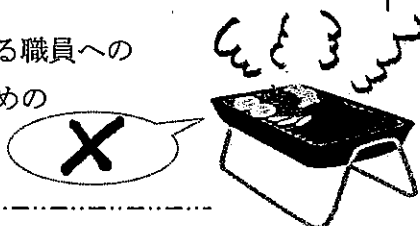
わが子の放射能による健康被害を心配する保護者は、これまで様々な思いを抱えながら奔走してきました。その保護者への支援として、市民団体が基金を立ち上げ甲状腺エコー検査を実施してこれたことに敬意を表します。自治体がこのような判断をしたことは、お母さんや家族の声に押されたからであり、市民団体が未来を担う子どもたちの健康を心から願う思いと国への憤りが自治体を動かしたと言えるでしょう。

スポーツ公園イベント広場での火気の使用を禁止するために条例改正が提案

→ネットは意見を付して賛成しました

▶▶▶どんな意見を付けたの？◀◀◀

- ① ルールを守ってバーベキューを楽しんできた方々にとっては大変残念なことであるため、自治会や子供会などの団体を許可制で利用を認めるとしていますが、是非その対象を拡大し責任をもって利用する人にも広げていただきたい。
- ② 条例改正に関して、インターネットでは大きな話題(約 3500 件)になりました。しかし、市民からのパブコメの意見は一件もなかったことから、市民意見の募集の周知を見直す必要があるのでは？
- ③ パトロールにあたる職員へのトラブル回避のための配慮を求める。



全会一致で採択された陳情 2 件の内容

その1) 陳情に対する議会での賛否は議会だより等で分かるが、その後、どのように扱われたのか？公表を求める陳情。→採択。ホームページで公表することに。

その2) 桜木自治地域では 7 年間に 6 回もの冠水・浸水被害が発生してしまいました。抜本的な対策を講じ安心できる生活環境を確保してほしい。→採択。下水道課は整備費用を今年度予算化し、縦横 2.4 m の下水道管を 440 m 延伸する。スケジュールは、2017 年度実施計画、2018 年度から 2023 年度の工事を予定。

小室みえこのひとこと

気候変動の影響もあり、市内随所で冠水・浸水被害が起きています。早急かつすべての箇所は難しいことは理解しますが、安心して生活できる環境のために対策を講じてほしいと思います。

